

# 阿武隈川流域 林業活性化センター情報

第6号

発行

平成18年2月

阿武隈川流域林業活性化センター  
〒963-8015  
郡山市細沼町10-12 渡辺ビル1F  
TEL 024-927-8839  
FAX 024-927-9558

阿武隈川流域林業活性化センターの情報は  
右のHPでも御覧になれます。

Home page : <http://www5.ocn.ne.jp/~aburin/>  
E-mail : [aburin@siren.ocn.ne.jp](mailto:aburin@siren.ocn.ne.jp)



## ● 間伐材利用研修

▲ 林道笹ノ田大沢線（東和町）

復旧治山行司沢地区（都路町） ▲

## ..... 協議会だより .....

阿武隈川流域林業活性化協議会の第1回会合は、平成17年7月15日サンフレッシュ郡山において、委員18名が出席して開催されました。

阿部徳光会長（石川地方森林組合代表理事組合長）の議事進行により、活性化センター平成17年度事業について、個別の実施計画に関する協議が行われ、「シックハウスセミナー」や「強度試験」の進め方、間伐材搬出利用等幅広い意見交換が行われました。

### 活性化センター活動のあらまし

平成十七年度に取り組んでいる事業の主なものは、次のとおりです。

#### ● 森林整備の促進

- 森林施業計画の実行確保、森林整備地域活動支援交付金制度の円滑な実施を支援するため、市町村・森林組合担当者による事業推進会議を流域一円で実施しました。
- 列状間伐に関する技術研修会を、福島森林管理署との共催で開催しました。
- 森林・木材認証の取得に向け、受け皿として期待される公有林及び森林組合担当者を対象として認証審査機関の担当者による説明会を開催しました。

#### ● 森林資源循環利用の促進

- 木材の強度特性を明らかにして流域産材の利用促進を図るため、平成十四年度から取り組んでいる木材強度の実大試験を、今年度は常葉町産のスギ梁材について実施しております。
- 木材の一層の需要拡大を図るため、住宅づくりに際して市民の関心が高いシックハウス対策に関するセミナーを開催しました。
- 間伐材の利用拡大に向け、丸太筋工、丸太法梓工など木材を多用した治山・林道工事について、福島森林管理署と共催で現地研修会を開催しました。

- 木材の流通や加工利用の実際について、森林所有者や素材生産者による木材流通センター・製材工場の現地研修会を実施しました。
- 地産地消の見地から、公共工事における地元産木材の利用を促進するため、関係公所、団体の担当者で組織する「ふくしま県産木材利用地方連絡会議」の構成員による県産木材活用意見交換会を開催する予定です。
- 木質バイオマスエネルギーの利活用促進の一環として、製材加工工場等で発生する端材や樹皮を木材乾燥のエネルギーとして利用する、木屑焚きボイラーの設置マニュアルを作成中です。
- 地域の実情に応じた木質バイオマスの利用を推進するため、県から業務を受託し、「木質バイオマス利用地域実行プログラム」を策定しております。

#### ● 地域材安定供給確保の推進

- 森林所有者、素材生産者、製材業者の協定により地域産材の安定的な供給を確保する「木材安定供給確保事業計画」(郡山団地、田村団地)の実行確保のため、進捗管理を進めております。
- 間伐材搬出利用率の向上(切り捨ての減少)を目指し、古殿町をモデルとして小丸太の生産利用を進めています。

#### ● 林業担い手の育成確保

- 流域内森林組合について、組織の合理化や機能の集約化、データベース化による事務事業効率化の推進など、経営基盤の強化に向けた経費について支援しています。
- 林業就労者に係る退職金及び雇用保険掛け金事業主負担分の助成取次ぎ事務を行っております。
- 県中地方における一人親方に係る労災保険加入の促進及び労働災害の防止安全衛生管理研修を実施しました。

#### ● 森林の教育的利用の促進

- 野外活動を通じて森林と共生することの意義や森林の重要性について、次代を担う少年達の認識を深める交流会を開催しました。
- 森林と水との関わりについて現地体験するツアーを、福島森林管理署との共催で開催しました。

#### ● 森林・林業に関する情報の収集提供

- 活性化センターだよりの発行、各種情報や資料の斡旋を行っております。
- H P を開設しておりますので、ご利用ください。

### ● 関連する事業 ●

#### ● 県中地方林業協会関係

- 業務研修会の企画・実施
- 予算活動
- 情報提供

#### ● みんなで創るあぶくまの森協議会関係

- 森林ボランティア活動の企画・実施
- うつくしま21森林づくりネットワーク

- 情報提供
- 県中地区林研グループ連絡協議会関係
- 県協議会との連絡調整
- その他
- 森林組合経営基盤強化研究会、ふくしま県産木材利用県中連絡会議への参加

### 列状間伐研修



15年度施業地



17年度施業地

### 大玉村前ヶ岳国有林

との連携による森林体験交流会等への参加

### シックハウス対策でつくる

### 健康住宅

十月二十二日(土)、ホテルバーデン(郡山市安積町)にて『シックハウスセミナー』シックハウス対策でつくる健康住宅』をテーマに、シックハウスアドバイザーの加賀妻憲彦氏を講師に迎え講演会を開催しました。

林業関係者・建築士・市民を中心に約九十名の参加があり、参加者の方々は熱心に耳を傾けていました。



内容は、国内や世界の森林がおかれています現状、シックハウス症候群のそもそも、問題点や対策、などで、原因物質は

- ・ 天井
- ・ 壁
- ・ 接着剤
- ・ 塗料
- ・ 断熱材

- ・ 防蟻剤
  - ・ 木材保存液
- など多くの物から発生すること。

また、自然素材でつくる家についてやりホームについて講師の方が今までの経験等を含めお話し頂き、自然素材でつくられた家がシックハウスの対策に優れていること、木と人の相性の良さ、地域材で家を建築することの利点や意義、など多岐にわたり、スライドを交えて棟梁ならではの視点からの講演がありました。



中でも、シックハウスをつくり出さない為の対処については、現場管理の

仕方から、建材の種類や壁・天井等の素材と機能について、講師自身が携わったシックハウスの調査事例などについて詳細なお話がありました。

講演終了後には、参加者からの質問にも答えて頂き、約二時間の講演会となりました。

\*講演会の参考資料をご希望の方は事務局までお問い合わせ下さい。

### 「森林認証取得研修会」

九月十二日(月)、福島県林業研究センター(郡山市安積町)にて、社団法人全国林業改良普及協会の大竹秀一審査主幹を講師に迎え、森林認証取得研修会を開催致しました。

市町村・森林組合を中心に約四十名の参加者があり、認証を受けるための審査基準等の講義をスライド等を交え説明を受けました。



### 緑の少年団交流会

十一月二日（水）、緑の少年団交流学習  
 会が、霊山町立石田小学校と古殿町立大  
 久田小学校、二校の参加でジュピアラ  
 ドひらた（石川郡平田村）において行わ  
 れました。

当日は晴天に恵まれ、活動状況紹介の  
 後、もりの案内人の方々を講師に迎え午  
 前中は森林観察、午後は木工クラブが  
 行われました。

両校の生徒とも、初めは緊張したのか、  
 遠慮がちな様子でしたが、時が経つにつ  
 れうち解け合い、親交を深めていきま  
 した。

一連の活動の後、両校の代表による感  
 想発表がなされ、最後は笑顔でジュピア  
 ランドひらたを後にしていました。



### 森林探訪会

#### 水源林散策ツアー

杉田川上流域の遠藤ヶ滝まで渓谷沿いの  
 樹木等を観察しながら森林散策を行い、  
 奥山水源林との触れ合いを通して、水源  
 林の重要性・働き等について理解を深め  
 てもらうことを目的として、九月十五日  
 に開催しました。

当初予定の八月二十六日は台風の接近  
 により延期となりましたが、当日は天気  
 にも恵まれ、約三十名の方が参加されま  
 した。



遠藤ヶ滝駐車場を出発し、杉田川沿遊  
 歩道歩きながら、もりの案内人の本田  
 さん・渡辺さんの案内で樹木を観察した  
 り、動植物の生態や役割についてなどの  
 説明を受け、熱心に耳を傾けていました。

### 間伐材から小丸太生産

林内に放置されている小径の間伐材を  
 有効に利用するため、古殿町をモデル地  
 区として、石川地方森林組合が、間伐材  
 の搬出利用促進に取り組んでいます。

その内容は、末口直径が七〜十二セン  
 チ、長さ二・〇五メートルの直材で、小  
 丸太を生産するものです。

四トン車が入る道端まで引き出して集  
 積し、連絡を受けた森林組合が一本一〇  
 〇円で買取り、加工工場まで運搬します。

九月から六月までの予定で、今までの  
 実績は、十人の林家から三、八〇〇本が  
 生産されました。

今まで切り捨てていた間伐材から収入が  
 得られ、間伐も進む、林内が整理される等、  
 効果が現れています。実績を積み重ね軌  
 道に乗れば他の町村にも範囲を拡大でき  
 よう検討していきたいと考えています。

### 編集後記

台風や土砂災害、地震災害など地球的な  
 規模での甚大な被害に見舞われた西暦が明  
 け、新しい年を迎えました。

平成十八年、戊午、十二支の十一番目、方位  
 は西北西、時刻では午後八時（五ツ刻を指す。  
 「見鬼而呼狗 未為晩」〔新序・雑事〕

間伐手遅れ林分が増えています。  
 これからでも遅くはありません。未だ間  
 に合います。

年度も後半になりましたが、第六号をお  
 届けします。

### 県中地方労災保険一人親方事務組合より

平成17年7月27日、郡山市安積町のサンフレッシュ郡山を会場とし、第9回通常総会を開催しま  
 した。なお、総会終了後、社会保険労務士・行政書士の菅野隆氏による手続きに関する諸注意並び  
 に郡山労働基準監督署第三課長上石克明氏による労災に関する講演を聞き、大変勉強になりました。

当事務組合は林業に従事する一人親方を対象とし、労災保険の加入手続等を行っております。林  
 業に従事する一人親方であれば組合に随時加入できますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

★問い合わせ先：県中地方労災保険一人親方事務組合（阿武隈川流域林業活性化センター内）